

令和元年度青森市子ども会議 臨時会議（青森市子ども会議 in 子どもの祭典） 開催概要

- 1 日時 令和元年7月7日（日）9時00分～14時00分
- 2 場所 浪岡総合公園
- 3 出席者 子ども会議委員20名（欠席者8名）、事務局6名
- 4 活動内容 子どもの権利等に関する出張普及啓発活動
- 5 開催概要

浪岡総合公園で毎年7月第一日曜日に開催されるイベント「子どもの祭典」へブース出展し、「子どもの権利」に関する普及啓発活動を行いました。



<今年のブース内容>

- ① 的当てゲーム、② スタンプクイズラリー、③ スノードームづくり

※ ①、②は昨年度も実施し、③は今年度から新たに実施しました。

事前準備

9時前に会場の浪岡総合公園へ到着し、ポスターや横断幕の取り付け、スタンプクイズラリー用のテーブルの運搬・配置など、みんなで協力しながら準備しました。

あわせて、お客さんが来たときの対応のしかたも確認しました。



本番（ブースの運営）

催しの担当ごとに、ブースを運営しました。

<スタンプクイズラリー>

【概要】

子ども会議考案キャラクターの「けんりはかせ」スタンプとクイズを会場内の4箇所に設置し、配付した解答用紙の正解だと思う方にスタンプを押してもらいました。全問正解者（再チャレンジも可）には、「けんりはかせ」のパズルキーホルダーをプレゼントしました

景品を目当てに、小学生などが集まりました。思ったよりクイズが難しいという声が多かったため、より楽しんでもらえるには、クイズの内容を小学生むけにしてみてもいいかもしれません。



<的当てゲーム>

【概要】

1人3回、トイレットペーパーの芯（玉）を飛ばして、テントの中のテーブルに並べたペットボトルの「けんりはかせ」の的を倒してもらいました。倒した的の数に応じて、ポケットティッシュやボールペンなどの景品をプレゼントしました。

今回の催しの中でも一番人気で、イベント終了時間ギリギリまで人の列が続いていました。急ぎょ当日に、他の催しも楽しんでもらえるよう、スタンプクイズラリーに答えた人には投げられる玉を追加する、という特典をつけることにしました。



<スノードームづくり>

【概要】

あらかじめ用意した容器とビーズやスパンコールなどの飾りを来場者へ渡し、自分だけのオリジナルスノードームを作ってもらいました。

女の子に好評で、準備していた容器が途中で無くなったことから、もっと個数を準備する必要がありそうでした。



<その他>

「子どもの権利」に関するチラシの配布や、アンケートの協力をお願いしました。アンケートの結果、子どもの権利相談センターを知っている人はある程度いましたが、子どもの権利条例について知っている人は、まだまだ少ないようでした。また、「子どもの権利」に興味があるなどと答えた人が半数程度にとどまっていることから、「子どもの権利」をもっと広めるためには、みんなに興味を持ってもらえるような工夫を考える必要があります。

子ども会議ブースの催しは全体的に好評のようでした。

次回7月20日（土）の会議では、夏休みに行うグループ活動の内容などを話し合います。